

## ＜研修プログラム例＞

本研修は地域での研修や学校での校内研修などで情報モラル研修を実施するための課題を自分で考え、目的や意義などをどう伝えるのか、地域・自校の課題や解決法をまとめて今後の情報モラル研修の取り組みへの方策を研究するとともに、研修実現への実施計画策定等についてワークショップを通して課題や解決方法を整理していただくことを目的としている。

日 時	時間数	セッション	内 容 (例)
1 日目 13:00～17:00	13:00  13:20 (40分 講義)  (20分 グループ分 け)  14:20 (60分 講義)  15:00 (90分 講義)	開会  1. 背景と研修事業概説 講師：文部科学省または 学識経験者  <アイスブレイキングタイム>  2. 問題意識の共有と事 例研究 講師：委員と指導主事  <休憩>  3. 情報モラル教育の 基本理念と指導 講師：委員	・全国の実態について ・情報モラルの必要性 ・新学習指導要領について ※情報モラルの定義, 新学習指導要領における情報モラル教育の位置づけなどを学んで頂く。  ※アイスブレイキングは今後の仲間意識を高めて頂くために自己紹介などを最初に行っていただく。  ・実態情報の共有 ・事案紹介 ・地域の現状把握 ※情報社会の光と陰, 情報モラルの現状などについて地域の現状、全国の現状を知り、自分の情報モラル教育に対する問題意識を確認していただく。  ・情報モラルの概念 ・情報モラル教育の内容と目的 ・モデルカリキュラムを基にした指導内容 ※情報モラルの基本理念(2領域5分野を含む), 情報モラル指導モデルカリキュラム, 体系的・系統的指導などについて確認と考え方の整理を行っていただく。
2 日目 9:00～12:30	9:00 (120分 講義)  11:00 (30分 講義)	4. 教材内容例と基本的 な指導事項 講師：委員  5. カウンセリングにつ いて 講師：委員	・教材例と基本的な指導事項 ・トラブル事例などの特徴、背景 ※情報モラル教育の教材内容, 情報モラル指導モデルカリキュラムとの対応, 利用可能な教材などについてインターネット等で検索し、資料を持ち帰る。  ・カウンセリングの方法 ※情報モラルに関する基本的なカウンセリングの仕方, 具体的トラブル対応の仕方などについて通常のカウンセリングと違う対応が必要であること、適切な処置の方法などを持ち帰る。

2日目 13:30～17:00	12:30 (80分 講義)	6. 各教科・道徳等での指導方法 講師：委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修用指導計画の作成</li> <li>・指導用教材の作成</li> <li>・模擬研修の役割分担</li> </ul> ※情報モラルの各教科・道徳等での指導内容・指導方法などについて具体的な活用例により教材を作成していただく。
	14:20 (50分 講義)	7. 研修設計、指導方法 講師：委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修のカリキュラムの設計</li> <li>・実技研修やワークショップ研修指導方法</li> </ul> ※地域研修、校内研修実施カリキュラムの設計の仕方などについて研修の目標や基準を整理する。
	15:30 (120分 グループ分け)	8. 研修実施ワークショップ 講師：委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内模擬研修</li> <li>・研修成果の共有</li> </ul> ※ワークショップでは5～6人のグループに分かれて頂き、グループとしての課題や解決策をワークシートに記入し協議する。(必要に応じてP.C、模造紙、ポストイットなどを使用する)。
3日目 9:00～12:00	9:00 (120分 グループ分け)	9. 研修成果の報告と討論 講師：委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップでの成果の報告と討論</li> </ul> ※自分で研修カリキュラム・展開案を作成した感想と、他グループの発表を聞き実現の可能性や問題点を議論する。
	11:00 (50分 各グループ代表が前に出て決意表明を行う)	10. 自校の課題克服方策に関する討議と決意表明 講師：委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表</li> </ul> ※討議内容から学んだことを発表するとともに研修終了後戻った時にどのような研修計画を実施するか決意表明をする。
	11:50	閉会	受講証明書授与 アンケート回収